



中部電力

Chubu Electric Power Group

# 中部エリアにおける今冬の需給見通し および需給両面での主な対策

2022年11月24日

# 冬季の電力需給見通し

- 2022年11月1日に開催された、政府の「電力需給に関する検討会合」において、今冬の需給見通しは、**中部を含む西日本エリアの広域予備率は最も厳しい1月においても5.6%**と、安定供給に最低限必要な予備率3%を上回る見通しが示された。
- 一方、大規模な電源脱落や想定外の気温の低下による需要増に伴う供給力不足のリスクへの対策が不可欠。

## 2022年度冬季の電力需給見通し

- 本年6月の会合開催時以降、追加供給力対策の実施や、3月の福島沖地震で停止していた火力発電所の復旧見通しがついたこと、電源の補修計画の変更、原子力発電所の特重施設の設置工事完了時期の前倒し等により、**マイナスだった今冬の予備率は、安定供給に最低限必要な予備率3%を確保できる見通し。**
- ただし、**1月の東北・東京エリアでは4.1%**となるなど、依然として厳しい見通しであり、大規模な電源脱落や想定外の気温の低下による需要増に伴う**供給力不足のリスクへの対策が不可欠。**

	厳寒時の需要に対する予備率					厳寒時の需要に対する予備率			
	<前回会合開催時>					<現時点>			
	12月	1月	2月	3月		12月	1月	2月	3月
北海道	12.6%	6.0%	6.1%	10.0%	北海道	14.4%	7.9%	8.1%	12.1%
東北	7.8%	3.2%	3.4%	9.4%	東北	9.2%	4.1%	4.9%	11.5%
東京		▲0.6%	▲0.5%		東京		4.1%	4.9%	
中部	4.3%	1.3%	2.8%		中部	7.4%	5.6%	6.5%	
北陸					北陸				
関西					関西				
中国					中国				
四国					四国				
九州					九州				
沖縄					沖縄				
	45.4%	39.1%	40.8%		65.3%		44.5%	33.1%	

1

- 中部電力パワーグリッドは、今冬の中部エリアにおける対策として、追加供給力（kW）の公募ならびに追加供給（kWh）の公募を実施し、供給力の上積みと追加的な燃料を確保。
- その他、電力需給がひっ迫する場合には、電源Ⅰ'発動や火力発電所の増出力運転、電源Ⅲや自家用発電設備の焚き増し等の対策を実施する。

対策	準備・検討の状況など
追加供給力kW公募	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 西エリアは最大募集量190万kWに対し185.6万kWを確保</li> <li>✓ 東エリアは最大募集量170万kWに対し77.9万kWを確保。国の審議会の議論結果を踏まえ、事業者間の個別協議の結果、52.6万kW確保可能となったことから、追加供給力として計上（合計130.5万kW）</li> <li>✓ 対象期間：1・2月</li> </ul>
追加供給kWh公募	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 9エリア共同追加供給kWh公募（全国18.6億kWh程度）</li> <li>✓ 対象期間：1・2月</li> </ul>
電源Ⅰ'発動	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 一般送配電事業者が、10年に1回程度の厳気象時等においても需給バランスを確保することを目的にあらかじめ予約している調整力を活用</li> </ul>
火力増出力運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 火力発電所の発電機定格出力を超えた運転を行い、追加供給力として活用</li> </ul>
電源Ⅲ・自家発等の焚き増し	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ オンラインで調整できない電源・特定自家用電気工作物の増出力を依頼</li> </ul>
地域間連系線運用容量の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 様々な対策を行っても、需給ひっ迫が回避できない場合は、広域機関の業務規程に基づき、最低限度の供給信頼度を確保しつつ運用容量を超えた連系線の活用を広域機関に要請</li> </ul>
供給電圧調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 需給ひっ迫に伴う国からの要請に基づき法令、託送供給等約款で定められている電圧の範囲で、電圧を低めに運用し、使用電力を削減</li> </ul>

# 節電のお願いに関する取り組み

- 中部電力グループは、以下の取り組みを通じて、丁寧にわかりやすく、節電をお願いしていく。

対策	準備・検討の状況など
節電に関する情報発信	✓ テレビCMや中部電力3社の各ホームページ、SNS等を活用し、電気の効率的な使い方や取り組みやすい節電方法に関する情報を発信
中部電力ミライズによる取り組み	✓ ご家庭（低圧）向けの省エネ・節電の取り組み ・デマンドレスポンスサービス「NACHARGE」 ・「省エネチャレンジ（前年同月比3%以上の使用量削減によりカテエネポイントを進呈）」 ・エアコンやエコキュートの買替キャンペーン ✓ 法人（特別高圧・高圧）向けの省エネ・節電の取り組み ・「デマンドレスポンス型 NACHARGE」 ・「月間電力量削減型（前年同月比3%以上の使用量削減により電気料金を割引）」 ・業務用エアコンの洗浄キャンペーン
自治体と連携した節電のお願い	✓ 自治体に協力いただき、地域のお客さまに対し、省エネ・節電のお願いを実施

以上